



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社プラップジャパン コード番号 2449 代表者(役職名) 代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無	上場取引所 東 URL https://www.prap.co.jp/ (氏名) 鈴木 勇夫 (氏名) 白井 智章 (TEL) 03(4580)9111 配当支払開始予定日 —
---	--

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	3,764	△21.4	263	△53.9	267	△53.4	177	△39.4
2019年8月期第3四半期	4,790	△7.2	571	△16.9	575	△17.0	292	△25.2

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 153百万円(△56.1%) 2019年8月期第3四半期 350百万円(△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	44.38	—
2019年8月期第3四半期	73.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	5,261	4,386	81.4
2019年8月期	5,354	4,348	79.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 4,283百万円 2019年8月期 4,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	39.00	39.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	39.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、2020年4月14日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年8月期3Q	4,679,010株	2019年8月期	4,679,010株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	682,828株	2019年8月期	682,828株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年8月期3Q	3,996,182株	2019年8月期3Q	3,996,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、先行きについても、極めて厳しい状況が続くと見込まれています。先進国も新興国ともに景気後退に入るとの見通しもあり、経済危機は世界規模の課題となっています。当社の業務についてはインバウンド案件の停止、記者会見・イベントの中止や延期が発生しており、中国・シンガポール子会社は現地での外出禁止の影響を大きく受けています。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社単体に、日本・中国・シンガポールの連結子会社を加えた当社グループは、当社単体が前期に対して増収増益となったものの、中国子会社が大幅な減収減益となったことにより、減収減益の結果となりました。

単体におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日外国人を対象としたインバウンド案件の停止、記者会見やイベントの中止・延期が多数発生し、業績に大きな影響を受けております。一方で、既存リテナークライアントとの契約維持や、ヘルスケア関連、IT関連など多数の新規リテナー案件を受注したほか、新サービス「リモート記者会見パッケージ」や「リモートメディアトレーニングプログラム」の提供を開始しており、結果として増収増益となりました。

国内の既存の連結子会社のうち2社は主に海外クライアントの業務を受注しており、感染症の流行以降、既存リテナークライアントの業務は維持しておりますが、新規案件の獲得については前期と同水準までの受注ができず、その結果、国内連結子会社全体では、減収減益の結果となりました。引き続き、人的リソースの最適化、効率化を進め、営業体制の拡充を実施し、業績の挽回をはかってまいります。

海外の連結子会社のうち、中国の連結子会社においては、複数の消費財、化学メーカーなどからリテナー業務、スポット業務を受注したものの、感染症の流行の影響を大きく受け、前期業績に寄与した広告代理店からの大型案件の未受注や、業務の停止や縮小が発生したため、大幅な減収減益となりました。こうした状況の中での業績の回復・挽回を目指し、コスト削減の推進、ソリューションの幅を拡大するための専門部署の立ち上げ、新規営業の拡大・深耕などの対策を進めております。シンガポールの連結子会社においては、既存の子会社に加えて、資本業務提携を行い子会社化したポイントグループがもつ東南アジアでの営業ネットワークとノウハウを活用し、更なる営業深耕を進めています。

デジタル領域に特化したサービスを展開する新会社「プラップノード株式会社」は、塩尻市観光協会と観光活性化を目的としたデジタルPRの活用支援に関する包括的な提携を行うなど、サービスの開発・提供に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,764百万円（前年同四半期比21.4%減）、営業利益は263百万円（前年同四半期比53.9%減）、経常利益は267百万円（前年同四半期比53.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円（前年同四半期比39.4%減）となりました。

なお、セグメント業績は、「その他」区分に含まれている物品販売事業の影響額が軽微なため記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,753百万円と前連結会計年度末に比べ133百万円の減少となりました。これは、現金及び預金95百万円及び電子記録債権42百万円が増加したものの、受取手形及び売掛金196百万円、たな卸資産100百万円が減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、507百万円と前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは、のれん22百万円、投資その他の資産に含まれる長期性預金22百万円が増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、664百万円と前連結会計年度末に比べ152百万円の減少となりました。これは、賞与引当金30百万円、1年内返済予定の長期借入金5百万円が増加したものの、支払手形及び買掛金145百万円、未払法人税等55百万円が減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、210百万円と前連結会計年度末に比べ21百万円の増加となりました。これは、退職給付に係る負債6百万円が減少したものの、役員退職慰労引当金が4百万円増加したことに加え、長期借入金17百万円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、4,386百万円と前連結会計年度末に比べ38百万円の増加となりました。これは、為替換算調整勘定3百万円が減少したものの、非支配株主持分20百万円、利益剰余金21百万円が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難な状態が続いております。緊急事態宣言が解除されたものの、人が多数集まることへの懸念からイベントの実施の回避は続いていることに加えて、収束に向かうと見られた感染者数の拡大が報告されております。このような状況下、連結業績予想については、現時点で合理的に見積もることが困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,702	3,798
受取手形及び売掛金	886	690
電子記録債権	24	67
たな卸資産	186	85
その他	88	113
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,886	4,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35	32
その他（純額）	25	32
有形固定資産合計	60	65
無形固定資産		
のれん	—	22
借地権	0	0
ソフトウェア	30	25
無形固定資産合計	31	49
投資その他の資産		
差入保証金	251	245
繰延税金資産	96	99
その他	29	48
貸倒引当金	△2	—
投資その他の資産合計	375	393
固定資産合計	467	507
資産合計	5,354	5,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	357	211
未払法人税等	85	30
未成業務受入金	73	75
賞与引当金	42	73
1年内返済予定の長期借入金	—	5
その他	256	268
流動負債合計	817	664
固定負債		
長期借入金	—	17
役員退職慰労引当金	36	40
退職給付に係る負債	152	146
その他	—	6
固定負債合計	188	210
負債合計	1,006	874
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	374	374
利益剰余金	3,855	3,876
自己株式	△434	△434
株主資本合計	4,265	4,287
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△0	△4
その他の包括利益累計額合計	△0	△4
非支配株主持分	82	103
純資産合計	4,348	4,386
負債純資産合計	5,354	5,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	4,790	3,764
売上原価	3,503	2,797
売上総利益	1,287	966
販売費及び一般管理費	715	703
営業利益	571	263
営業外収益		
有価証券償還益	1	—
受取利息	1	0
貸倒引当金戻入額	2	2
受取手数料	0	—
その他	1	2
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	2	0
その他	0	—
営業外費用合計	2	1
経常利益	575	267
特別損失		
固定資産除却損	—	0
訴訟関連損失	3	—
事務所移転費用	—	19
特別損失合計	3	19
税金等調整前四半期純利益	571	248
法人税等	213	88
四半期純利益	358	159
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	65	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	292	177

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	358	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	△7	△5
その他の包括利益合計	△8	△5
四半期包括利益	350	153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	173
非支配株主に係る四半期包括利益	62	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
	PR事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,790	4,790	0	4,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,790	4,790	0	4,790
セグメント利益又は損失(△)	574	574	△2	571

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、物品販売等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
	PR事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	3,756	3,756	7	3,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,756	3,756	7	3,764
セグメント利益又は損失(△)	268	268	△4	263

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、物品販売等の事業を含んでおります。

なお、その他事業として営んでおりました物販販売等の事業につきましては、第2四半期に事業を廃止しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。